

令和7年8月4日

各報道機関 御中

国立大学法人山梨大学

高校生のためのミライの先生セミナー（全4回）の開催について

本学では、令和6年度より5年間、文部科学省が公募した「地域教員希望枠を活用した教員養成大学・学部の機能強化事業」の選定大学となり、「教育委員会との連携・協働に基づく地域教員養成コースを中心とした小学校教員の量的・質的確保機能の強化」をテーマに取り組を進めているところです。

その目的は、大学入学前（中学校・高校）から、入試、教員養成、教員採用、さらには採用後のフォローアップに至るまで、小学校教育人材の量的・質的確保の取組を推進することにより、地域教育の実践的課題や教育現場のニーズに対応した優れた教員を継続的・安定的に輩出できるシステムを構築することにあります。

その取組のひとつとして、昨年度まで実施していた「教職入門講座」（全2回）を拡充した「高校生のためのミライの先生セミナー（全4回 略称：ミラせん）」を企画しました。

このセミナーは、教職に興味・関心を抱いていたり、将来、教員として働くことを考えていたりするなど、教職を意識している県内外の高校生を発掘し、教職の大切さや面白さ、子どもの心理、教える内容・技術等について学び、教員になるために必要な「経験」を積み重ねることで、教職への意欲を高め、教育学部を経て教職へ、さらなる一歩を踏み出す機会を提供することを目的としています。

つきましては、セミナーの第1回（参加者58名）及び第2回（参加者65名）は既に終了していますが、第3回、第4回も、次のとおり、開催いたしますので、取材および貴報道枠でのご紹介をよろしくお願いいたします。

- 日 時：第1回 6/8（日）【済】 第2回 7/20（日）【済】
第3回 8/11（月・祝） 第4回 9/15（月・祝）
- 対 象：高校生（山梨県在住でなくても構いません）
- 開催場所：山梨大学甲府西キャンパス（山梨県甲府市武田4-4-37）M-12教室
- 開催方法：対面及びオンライン（Zoom）での同時開催
- 開催内容：第1回 ~~教えるということ~~（講義とトークセッション）
第2回 ~~子どもの「こころ」に寄り添うこと~~（講義とトークセッション）
第3回 主体的・対話的で深い学びを支えること（講義2つ）
第4回 先生になるということ（講義とトークセッション）

※詳細及び申込方法は、山梨大学ホームページにてご確認ください。

第3回（8/11月・祝）第3回「高校生のためのミライの先生セミナー」開催案内

第4回（9/15月・祝）第4回の開催案内は8/11から公開します。

- その他 取材を希望されるマスコミ関係者の方は、12:30までに直接会場へお越しください。

<本件に関する問い合わせ先>

山梨大学教育学域支援課総務グループ

TEL：055-220-8104

E-mail：edu-hs@yamanashi.ac.jp

<広報についての問い合わせ先>

山梨大学 総務企画部 総務課 広報・渉外室

TEL：055-220-8005, 8006

E-mail：koho@yamanashi.ac.jp

高校生のためのミライの先生セミナー

第2回 第3回 第4回 まとめてご案内します。

ミライ せん

申込はこちら↓



「第2回～第4回」
共通QRコード

山梨大学教育学部は
教員になりたい高校生を
もっともっと応援します。

対象	教職に興味・関心のある県内外の高校生	対面会場	山梨大学 甲府西キャンパス M号館 M12教室
形式	対面とオンラインのハイフレックス方式 (申込時に選択、変更は前日まで可能) ※オンラインは Zoom を使用します。前日までに申込時の登録メールアドレスあてに参加のためのURL・ID等を連絡します。		
実施日	第2回 7/20(日) 第3回 8/11(月・祝) 第4回 9/15(月・祝)		
申込	参加希望の高校生は、山梨大学のホームページ、チラシにある第2回～第4回共通の「QRコード」を読み取って、 <u>各回の指定された期間内に</u> 申し込んでください。		

時間割	
～12:55	集合
12:30～12:55	オンライン入室時間帯
13:00～13:10	開会
13:10～14:20	学び①
14:20～14:30	(休憩)
14:30～15:40	学び②
15:40～15:50	閉会

「第2回」申込期間 6/16～7/10

【子どもの「こころ」に寄りそうこと】

子どもの多様な「こころ」に寄りそうために教員として大切なことを学びましょう。

学び①子どもの心理学～子どもに伴走するために～

やまなし小学校教育講座 田中 健史朗 (タカ ケンシロウ) 准教授

学校には多様な「こころ」に生活しています。「みんなちがって、みんないい」という学校やクラスをつくるために、先生としておくべきことをお伝えします。その方法として、心理学の実験を用いて、みなさんにも体験的に学びを進めてもらいます。勉強が好きな子もいれば嫌いな子もいます。運動が得意な子もいれば苦手な子もいます。その子たちが一緒に学ぶことの魅力と意味について考えてみましょう。

学び②子どもとの交流経験から教職の魅力についてみんなで考えよう。

(現職+学生の発表と参加者のトークセッション)

「第3回」申込期間 7/11～8/4

【主体的・対話的で深い学びを支えること】

教えることを仕事とする教員にとって必要なことについて学びましょう。 8/6まで延長！！

学び①子どもが主体となる深い「学び」とは

大学院教育実践創成講座 梶原 郁郎 (カヅラ イロウ) 教授

子どもが主体となる深い「学び」は、私たち教師が主体的に教科の知識を深く理解しておくことによって成り立ちます。私たち教師は、例えば「先生、 $6 \div 2/3$ はどうして $\times 3/2$ にするの？」と質問されて回答できないと、その計算の仕方の意味を深く考えさせることはできません。教師にとっても児童にとっても教科の知識は理解が難しいから、わかる愉しみが生まれます。この愉しみの一例を「学び①」ではみなさんと共有したいと思います。

学び②ICT活用で変わる子どもたちの「学び」

附属教育実践総合センター 三井 一希 (ミツイ カズキ) 准教授

現在、ファミレスではネコ型ロボットが料理を運び、街中では自動運転の車の実証実験が始まっています。この先、もっともっと便利な世の中になっていくことでしょうか。では、こんな便利な世の中を生きていく子どもにはどんな力が必要となるのでしょうか。そのために教師はどんな授業を行っていけばよいのでしょうか。ICTを活用したさまざまな授業の事例をもとに、ワークを通じながら一緒に考えていきましょう！

「第4回」申込期間 8/11～9/8

【先生になるということ】

思い出の先生はどんな先生でしたか？ なりたいと思う先生はどんな先生ですか？

皆さんの思い描く教師像を考え、語り合い、イメージを広げましょう。

学び①それぞれのミライ予想図を描こう。

附属教育実践総合センター 中込 司 (ナカゴ シ) 特任教授

皆さんは将来なりたい職業は決まっていますか。教員の仕事にとっても魅力を感じているけれども本当になれるかなど決めかねている人、教員以外にもなりたい職業がありどちらにしようか迷っている人、恩師のような先生になりたいと思っている人など、それぞれだと思います。将来の道筋を決めるのは自分自身です。この回では、皆さんの思い描くそれぞれの教師像を語り合い、教員を選ぶミライについてイメージを広げていきましょう。

学び②先人から歩みを聞き、「先生」となるミライをみんなで語りあおう。

(現職+学生の発表と参加者のトークセッション)



第2回

(7/20)

第3回

(8/11)

第4回

(9/15)

内容

交流

オンライン参加の方も Zoom 内で交流ができるように準備しています。

会場までのアクセス

【徒歩】JR 甲府駅北口より武田通りを北上 徒歩約 15 分
【バス】JR 甲府駅北口バスターミナル 2 番 → 「武田神社」または「積翠寺」行き → バス停「山梨大学」下車 約 5 分
※「山梨大学 交通アクセス」や「山梨大学 キャンパスマップ」で検索してください。詳細を確認することができます。

問い合わせ

山梨大学教育学部 TEL 055-220-8104
E-mail edu-hs@yamanashi.ac.jp

至 武田神社



至 甲府駅